



長岡戦災資料館で行った長岡空襲の体験を聞く会(昨年5月18日)

世界平和を発信 長岡空襲の史実を後世へ

長岡空襲の史実を後世に伝えるため、恒久的な伝承施設として長岡戦災資料館の移転・整備を進めています。→予算P6

活用事例

悠久山公園の再整備

遊具や芝生広場の整備に寄付金を活用。5月に子育てエリアをリニューアルオープンします。



寄付金とともに 全国から応援メッセージも

- 二度の戦禍を乗り越え、日本史上の有名人も多く輩出する歴史ある長岡をリスペクトしています。
- 帰省すると、子どもと一緒に悠久山公園を利用します。みんなが親しめる公園づくりをお願いします！
- 生産者のみなさんのおかげでおいしいお米が食べられています。後継者の育成に寄付金を活用してほしいです。
- 学生時代を過ごした長岡は、私の第2の故郷。当時お世話になったみなさんやそのご家族、現在の市民である後輩たちの役に立てばうれしいです。

ふるさと納税 今年も最高額 全国からの支援 まちづくりの力に

長岡の魅力ある返礼品960品をそろえるふるさと納税。令和6年度の寄付が、3月24日時点で14万2,842件、42億1,965万円となり、件数、額ともに過去最高を更新しました。集まった寄付金は、子育て環境の整備や長岡の未来を担う人材の育成など、さまざまな分野で活用。市のまちづくりを支え、地域の課題解決につながっています。

図広報・魅力発信課 ☎39・5151



▶新ブランドのロゴマーク。認証マークでよく用いられる「チエックマーク記号」と長岡の風景に見立てたデザインです。

中山間地域の農業を応援 NAGAOKA MOUNTAIN GIFTS 誕生



美しい自然に包まれ、高品質で独自の風味を持つ農産物が生まれる中山間地域。不整形な田畑や傾斜などを有するために生産コストが高いほか、高齢化や人口減少といった課題に直面しています。市は、中山間地域の農産物の魅力を発信しようと、新ブランド「NAGAOKA MOUNTAIN GIFTS」を立ち上げました。「守り、育てる。山の恵み。」がコンセプト。地域で頑張る農業者が生産した米や野菜などの農産物、加工品を認証します。認証された商品はブランドロゴマークを付け、10月ごろから本格販売を予定。消費者と共に農業者を応援し、持続

一足先に味わうチャンス！ ながおか花火館で先行販売

新ブランドとして認証する米や加工品など約20点を販売します。期間＝4月14日(月)まで 場所＝越後御貢屋(道の駅ながおか花火館内)

おいしさの「金匠」(左)、環境配慮の「小さな生き物たちと育むお米」も購入できます



可能な中山間地域の農業の実現を目指します。
「価値」で選ばれる長岡3大ブランドに
市はこれまで、おいしさを重視した長岡産コシヒカリ「金匠」と環境に配慮して栽培した「小さな生き物たちと育むお米」の2種類のブランドを展開してきました。今回の「NAGAOKA MOUNTAIN GIFTS」を加え、「価値」で選ばれる長岡3大ブランドとして、さらなる磨き上げと積極的なPRに取り組みします。→予算P5
図農水産政策課 ☎39・2223



ながおか祭 5/24・25 開演：午前11時

～花火と食と音楽と～

国営越後丘陵公園

図観光企画課 ☎39・2344



最新情報は公式サイトで



打首獄門同好会、甲斐バンド、GYUBIN、DA PUMP、FUNKY MONKEY BABY'S、MAZZEL、ME:I、みいつけた! オフロードショー、ひなた (O.A.)

全出演アーティスト決定！
タイムテーブルは公式サイトで

IS:SUE、imase、SHISHAMO、JUNNA、Da-iCE、MA55IVE THE RAMPAGE、マルシィ、wacci、輝叶 (O.A.)



市民割引チケット

- 1日券 ¥大人11,000円、中・高校生4,000円
- ペアチケット ¥大人20,000円、中・高校生7,000円

販売場所

- ◆ CoCoLo長岡サービスカウンター ☎36・1300
図午前10時～午後7時30分
- ◆ 日本旅行長岡支店 ☎88・2500
図平日午前10時～午後5時

交通チケット

- 米フェス臨時駐車場駐車券 ¥1台1日4,000円
- シャトルバス券 (JR長岡駅・会場間往復) ¥大人2,000円、小・中・高校生1,000円
図キョードー北陸チケットセンター ☎025・245・5100

※時・¥などの略字の見方は15ページへ

市の組織が変わりました

時代の変化に対応し 行財政改革を加速

将来にわたって質の高い市民サービスを提供していくため、持続可能な行財政改革を主導する専任の理事を配置します。公共施設の適正化や財産の活用などを検討するほか、市民窓口サービス課内



▶最小限の記載で手続きできる「書かない窓口」

に窓口業務改革室を設置し、窓口業務のDXにより、さらなる利便性の向上を目指します。

市民の不安や地域の課題にきめ細かく対応

母子保健と児童福祉を一体的に扱うことも家庭センター「7ページ」を設置。地区担当の保健師が、子どもの成長段階に合わせて、切れ目のない包括的な支援を行います。また、子ども政策課を設置し、子育て支援施策の充実や課題対応に取り組みます。

市内企業の大きな課題である人手不足の解消に向け、人材・働き方政策課を新設。人材政策を強化・推進し、産業界を強く支援します。
図行政管理課 ☎39・2208